

2025 年 第 86 回 応用物理学会
秋季学術講演会シンポジウム

2025 年 9 月 7 日 (日)

13:30～16:45 @ N103 会場 (共通講義棟北)

ミューオンが拓く科学と技術

Muons Pioneering Science and Technology

ミューオンは宇宙から降り注ぐ粒子として知られ、ピラミッドなどの大規模構造物や文化財の調査に活用されています。さらに昨年、世界で初めてミューオンの加速に成功し、新たな応用展開が期待されています。本シンポジウムでは、近年急速に発展するミューオン技術とその応用に関連する最新の研究成果を幅広く紹介します。

大谷 将士 (高エネルギー加速器研究機構)

科学と応用を切り拓くミューオン加速技術の最前線

上岡 修星 (高エネルギー加速器研究機構)

J-PARC におけるミューオン冷却技術の開発とその将来展望

渡辺 幸信 (九州大学)

半導体デバイスの宇宙線ミューオン起因ソフトウェア研究の現状と展望

永谷 幸則 (高エネルギー加速器研究機構)

ミューオン顕微鏡の開発計画：基礎と展望

二宮 和彦 (広島大学)

ミューオン特性 X 線測定による非破壊元素分析法

森島 邦博 (名古屋大学)

原子核乾板による宇宙線ミューオンイメージング

【企画】 応用物理学会 放射線分科会

【世話人】 武田彩希 (宮崎大学)・白井太郎 (株式会社島津製作所)